

＜先週の説教から＞

『ヘブライ51－私たちの祭壇』

武田真治牧師

レビ記 4：13-21 ヘブライ手紙 13：8-14

今日の箇所の最初の言葉はよく知られている言葉「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることのない方」です。これは、イエス様というお方が、いつも変わらず存在して下さっているという意味と同時に、いつも私たちに對する態度や接し方が変わらない、そばにいて愛し、慈しみ、心配して下さる方という意味が強いです。なぜ、この点が強調されているかと言えば、この後の言葉「(だから) いろいろ異なった教えに迷わされてはなりません」に続くからです。当時、様々な新しい教えや奇抜な宗教が興っていました。そのような新しく、人目を引く教えに迷わないよう注意しようと、イエス様の私たちへの愛は変わらないのだからと。現代の私たちにも通じる教えではないでしょうか。

更に「食物の規定に従って生活した者は、益を受けませんでした」と続きます。この背景は、旧約聖書の後半、特にエルサレム神殿が破壊されてからはユダヤ教の信仰はもっぱら“生活の仕方”に自分たちの信仰を表現するようになって行き、特に、汚れた食物やその時期によって食べる物を定める“食物規定”を守ることが信仰の中心のように見做されたのでした(今でもコーシェルという証印が押されている食品を食しておられます。イスラム教のハラールと同じように)。

この手紙は、そのような旧約聖書の背景を持っている人達＝ヘブライ人に向けて書かれていますから、上記のような“食物規定”を守ること自分たちの信仰や信心を保って来た在り方に対して、著者はそれは「益を受けて来なかった」と、なぜなら「食べ物ではなく、恵みによって心が強められる」からだと教えているのです。確かに、人間は食べ物を通して、健康や長寿を手に入れようとします。そしてそれ故、時にはおいしい物や珍しい食材を食べることによって、生きる力や活力まで手に入れようとします。食物規定も逆に“食べない”ことで清さや聖性を手に入れようとします。けれど

も、食べ物は“体を強くする”ことは出来ても“心を強くする”ことは実は難しいのだと。むしろ本当に私たちの“心を強くする”ものは“恵み”だということです！

この“恵み”とは何でしょうか？ これは“神様が与えてくださったもの”のことです。祝福や導き、御守りや御支え、み言葉や聖霊、何より信仰でしょう。たくさんの恵みを神様から私たちひとり一人に与えられているのではないのでしょうか？ その体験や認識が“私たちの心を強くする”のだからと！なるほどと思われれます。『わたしはあなたかたを捨てて、孤児にはしない』(ヨハネ 14：18、前協会訳)と言われたイエス様の約束に『アーメン』と答えて行きたい。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月12日(水) 20:00
II. 7月13日(木) 10:30/12

聖書：ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：週報作成奉仕者を覚えて
担当者：(水) 関根 (木) 浅井
祈りに覚える人：小岩さん 小林さん
ハンナの会：7月11日(火) 10:30～

【教勢報告】

主日礼拝 男 21 女 61 計 82
祈祷会 I. 男 5 女 2 計 7 II. 男 3 女 8 計 11
日曜学校 幼稚科 8 小中 12 計 20

【次週主日礼拝】 7月16日(日)

聖書：ミカ書 6：6～8
ヘブライ人への手紙 13：13～16
説教：「ヘブライ 53－主に喜ばれる
ささげものとは？」 武田真治牧師
讃美歌：55(1)、32、361(1～3)、495(1と2)、479(1と2)、90(1)

【次週当番表】

司式 金刺長老 奏楽 村上 礼拝 金刺長老
献金 三箇 鄭 受付 飯島 吉岡
会堂準備 小杉 富澤 長田 橋本
北條

看板 曾我 週報 吉岡 お花 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・お茶の会 ・牧師と語る会 ・オリブの葉編集委員会
・日曜学校教師会・幼稚園理事会

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 7月 9日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>